

磐田市制施行 15 周年、おめでとうございます。また、この今之浦公園が無事に完成したことを嬉しく思います。コロナ禍で大変な中、関わってくださった方々、市役所の皆様、ありがとうございました。

僕自身、今は大学生ですので、このような式典でお話しさせていただくことは光栄に思います。

「磐田市」が合併して 15 年ということで、自分の方が年上なのかと驚きました。この機会に磐田市の 15 年の軌跡を見せていただき、小中学校でお世話になった給食センターの稼働開始や「しっぺい」の誕生など自分が知っている出来事が思い出され、磐田市の歴史を感じました。

僕が未来に向けて贈りたい言葉が一つあります。それは「変化を受け入れる」です。

現代において最も注目を集め、人々の目を引いているのは「コロナウイルス」であるように思います。社会全体が思うように活動することができなくなったのは確かですし、「3 密」を避けるという目的で営業に大打撃を受けた諸産業もあります。学生である僕たちもオンライン授業や制限された中での対面授業などのさまざまな影響がありました。僕は今年で 20 歳ということもあり、最も大きな影響を受けたのは、成人式および同窓会ができなかったことです。式典が行えなかったこと、同級生たちと再会ができなかったことはとても残念に思っています。しかし今年は「イワタハタチ」という取り組みが行われ、自分もその話し合いに一部参加させていただきましたが、コロナウイルスの流行している状況下でも、どうにかできることはないかとみんなと話し合うことができました。結果的にフォトコンテストやそれに付随した磐田のフォトスポットの紹介、恩師からのメッセージの作成など今までにない形での取り組みができました。もちろん各方面のご協力あってのことなので、とてもありがたく思うとともに、ここから、新しいことに挑戦する大切さ、その大変さを改めて知ること

ができたと感じています。

こんな社会だからこそ、僕は未来に向けて「変化を受け入れる」というメッセージを送りたいです。コロナウイルスは私たちの生活を大きく変えました。ソーシャルディスタンスという言葉は、今まで普及していませんでしたが、今ではほとんどの方々をご存知でしょう。それによって行動を制限され、「コロナウイルスさえなければ・・・」と思うこともあると思いますし、僕自身もかなり感じています。しかし、残念ながら時間とは不可逆的なものですのでこうなってしまった以上、立ち向かうべきだと思います。現状に対しての不満はとても簡単に見つかりますが、だからこそ、今できることは何かを考えていきたいです。リモートワークになったことで今までとは違った働き方が見つかったり、無駄なハラスメントが減ったという報告もあります。今までの考え方にとらわれることなく、時代の変化に適応しながら自らの目的を達成する力が、今求められているように思います。コロナウイルスについては確かに負の面が多く報道され、鬱鬱としがちですが、その中でも多角的に物事を見て、少しでも希望を持てるような心持ちがあるかないかで未来は変わってくるのかなと思います。

変化というのはエネルギーを使うものです。実際何もしないことは一番省エネルギーだと思います。僕の好きな言葉に「他人と過去は変えられないが自分と未来は変えられる。」というカナダのお医者さんの言葉があります。明るい未来のために、自分には何ができるのかを常に考えていきたいです。これから先、新成人として出会う新たな人や物事、その「変化」を受け入れ、自分たちの糧にしていきたいと思います。またそれを生まれた街であるこの磐田市に還元できるようこれからも精進したいと思います。

新成人代表 國松 士